

技術的課題解決支援事業（ギカジ）の概要

▼ 「ギカジ」ってなに？

ギカジのフロー

- 1 課題が発生したら
- 2 お客様からの技術的課題解決依頼に応じて
- 3 総合技術研究所が、調査、測定、分析、評価などの手法を通じて、その課題解決に向けて検討することを請負うとともに
- 4 技術指導と併せ、検討結果等を記載した**技術支援レポート**の交付等を行う「有料の制度（**技術支援料**）」です

- ※ ただし、次に掲げるものは、現行どおり無料です。
 - ・ 誰もが容易に入手し得る情報、一般的な知見、公知の技術などに基づいて行う技術指導
 - ・ 行政上の必要による技術的課題解決支援（危機管理対応を含む。）

▼ 技術支援レポートって？

技術的課題に提案

★ 技術支援レポートの構成

- ◇ 課題の内容
- ◇ 解決へのアプローチ（試料・試験検査の設定条件・内容等）
- ◇ 結果・考察（データの解析等）
- ◇ 技術支援料額
- ◇ その他（添付データ等）

- ※ 検討結果の利用にあたっては依頼者の責任と判断において行って下さい。また、検討結果の利用により生じた損害については、研究所は一切の責任を負いません。
- ※ 検討結果は、第三者の知的財産権に抵触しないことを保証するものではありません。

- ※ 広告等を希望される場合には、別途、研究所の承認を受けてください。
- ※ 発明等の知的財産権は、原則として広島県に帰属します。

▼ 技術支援料はいくらかかるの？

技術支援料の積算

★ 技術支援料

- = **技術料**（令和2年度単価：3,492円／時間）
- + **光熱水費**（令和2年度単価：272円／時間）
- + **設備利用相当額**（試験検査等が必要な場合）
- + **旅費・運搬費**（現地調査・指導が必要な場合）
- + **消費税**

- ※ ただし、依頼者が中国地方（広島県、鳥取県、島根県、岡山県、山口県）に住所又は事務所若しくは事業所を有しない者である場合は、**技術支援料×2**

- ※ 想定事例で積算している技術支援料は、一般的な場合を想定したものですので、御依頼の検体によっては、技術支援料は変わります。

想定事例1 自社の加工食品に硬い異物が見つかったため、その異物の鑑定をして欲しい。

- ◎ **支援時間=3時間、使用機器=走査型電子顕微鏡及びエネルギー分散型X線装置とした場合の技術支援料**

技術支援料=3,492円×3=10,476
光熱水費=272円×3=816
設備利用相当額=約8,000（利用機器により異なる）
旅費・運搬費=0
消費税=約1,000円 **合計 2万円程度**

想定事例2 試作した装置の耐候性評価及びその結果を基に改良点の指導をして欲しい。

- ◎ **支援時間=12時間、使用機器=温度環境試験機とした場合の技術支援料**

技術支援料=3,492円×12=41,904
光熱水費=272円×12=3,264
設備利用相当額=約13,000（利用機器により異なる）
旅費・運搬費=0
消費税=約4,500円 **合計 6万3千円程度**